

くめじま

議会だより

2017.12.1

No.62



「ハローウィン仲里幼稚園・中央保育所」

日時：平成29年10月31日(火)
場所：久米島町役場 仲里庁舎

久米島の人口・世帯数(2017年9月末現在)

男:4,267人 世帯数:3,993世帯
女:3,749人
計:8,016人

9月定例会

9月定例会で決まったこと	2 P
9月定例会・臨時会で決まったこと	3 P
意見書・決議書	4 P
町政を問う 一般質問	5~15 P
一部訂正・議会の傍聴へ行こう	15 P
決議書採択 (職員不祥事の再発防止を強く求める)について	16 P
編集後記	16 P

平成 29 年 9 月 (第 7 回) 定例会は、9 月 15 日から 27 日までの 13 日間の日程で行われました。定例会では、平成 28 年度の決算をはじめ議案 8 件、認定 4 件、報告 2 件、同意 12 件、発議 1 件、決議 2 件を審議し、すべて原案どおり可決・採択しました。15 日・19 日の一般質問では 11 人が登壇し、活発な議論が行われました。

9 月定例会で 決まったこと

平成 28 年度決算 ※全員賛成で認定

- 国民健康保険特別会計決算
 - 後期高齢者医療特別会計決算
 - 下水道事業特別会計
 - 水道事業会計
- ※詳しい内容を一般会計決算認定後、掲載いたします。

平成 29 年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算(第 6 号)
83 億 2371 万円(5 億 4611 万円増)
- 国民健康保険特別会計補正予算(第 2 号)
15 億 1344 万円(4861 万円増)
- 後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)
7769 万円(422 万円増)
- 下水道事業特別会計補正予算(第 1 号)
3 億 0914 万円(2152 万円増)

報 告

- 平成 28 年度久米島町教育委員会の事務に関する点検・評価報告
- 平成 28 年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告

条例の改正 ※全員賛成

- 久米島町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について
農業委員会等に関する法律の改正に伴い、新たに委嘱される農地利用最適化推進委員の報酬を定める必要がある。

- 久米島町地域集会施設及び農村公園条例の一部を改正する条例について
比嘉公民館の新設により、新たに久米島町地域集会施設及び農村公園条例の施設名称に比嘉公民館を追加する必要がある。

※多数起立

- 久米島町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について
職員による公金横領事件に関する管理者責任として、町長、副町長の給料の減額を行うための改正を行う。

一般審議 ※全員賛成

- 久米島町地域集会施設及び農村公園の指定管理者の指定について
名称 比嘉公民館

選 任 ※全員賛成

- 農業委員会委員の任命について
比嘉 康氏(字宇江城) 吉永 博之氏(字真謝)
新垣 良男氏(字真謝) 宇江城 悟氏(字比嘉)
大道 裕司氏(字謝名堂) 渡慶次 朝夫氏(字山城)
新垣 薫氏(字儀間) 山城 秀昭氏(字西銘)
吉永 幸夫氏(字仲地) 當間 凌氏(字仲泊)
仲村渠 勝枝氏(字大原) 津波 実氏(字真謝)

専決処分

- 平成 29 年度久米島町一般会計補正予算(第 5 号)
地方自治法第 179 条第 1 項の規定に基づき、平成 29 年 8 月 15 日に専決処分したので、同条第 3 項の規定により議会に報告し、その承認を得る必要がある。

議員提出 ※全員賛成

- 職員不祥事の再発防止を強く求める決議
(要約文を 16 ページへ掲載)
- 駐留軍関係離職者等臨時措置法の有効期限延長に関する要望決議
- 県産品の優先使用について(要請)

賛否が分かれた議案審議結果

賛成は○ 反対は×

氏名	喜久村等	盛本實	平良弘光	崎村正明	吉永浩	赤嶺秀徳	仲村昌慧	喜久里猛	棚原哲也	玉城安雄	安村達明	翁長学	饒平名智弘
久米島町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○

※議長は採択に関わらない

第8回臨時会で決まったこと



平成29年度補正予算 ※全員賛成

- 一般会計補正予算(第7号)
83億3082万円(7,112千円増)

会期：平成29年10月13日

請負契約 ※全員賛成

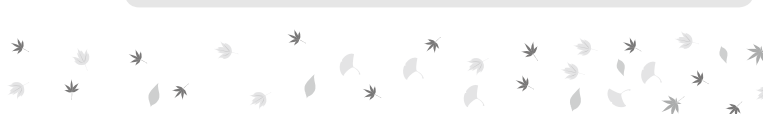
- 久米島町多目的公園整備工事請負契約

◎契約の方法 指名競争入札
◎契約金額 1億2528万円
◎契約の相手 株式会社 宮城組

- 風の帰る森プロジェクト本館建築工事請負契約

◎契約の方法 指名競争入札
◎契約金額 2億4024万円
◎契約の相手 代表者 久米建設株式会社
構成員 株式会社 宮城組

第9回臨時会で決まったこと



会期：平成29年10月23日

平成29年度補正予算

※起立多数

- 一般会計補正予算(第8号) 83億3752万円(6700千円増)

賛否が分かれた議案審議結果

賛成は○ 反対は×

件名	氏名													
	喜久村等	盛本實	平良弘光	崎村正明	吉永浩	赤嶺秀徳	仲村昌慧	喜久里猛	棚原哲也	玉城安雄	安村達明	翁長学	饒平名智弘	
平成29年度一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	

※議長は採択に関わらない

議員提出

※全員賛成

- 普天間基地所属CH53E大型輸送ヘリコプター不時着炎上事故に対する意見書 (要約文を4ページへ掲載)
- 普天間基地所属CH53E大型輸送ヘリコプター不時着炎上事故に対する決議書 (要約文を4ページへ掲載)

P2,3 賛否が分かれた議案の賛成・反対討論

P2・久米島町特別会職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について職員による公金横領事件に関する管理者責任として、町長、副町長の給料の減額を行うための改正を行う。

反対討論・当初は、3カ月の10%というところ何で6カ月10%になったかと経緯を確認したら、町長より「一部の町民の声で」という答弁に、町の最高責任者としての自覚をもう一度考えてほしいという意味も込めて反対します。

賛成討論・当初は、3カ月10%から地域の声や各自治体の事例、前例等を懸案して町長の意向そったかたちで6カ月の10%また更に期末手当まで対象ですので、完全ではありませんが、ある程度はこの条例改正案について妥当ということで賛成です。

P3・平成29年度補正予算(第8号)6700千万円増

補正予算中、「サトウキビ振興協議会国庫補助金の返還にかかる負担金3千356万2千円」に対して

反対討論・返還が遅れば利息が付く、それで補助金にも影響がでる。だからこそ責任の所在を明確にしてほしい。担保が取れないままに、この議案を認めれば、町民に負担をかけることが危惧されますので反対します。

賛成討論・JA、久米糖としっかり協議して、組織の改編もお願いして、そのままほっておいたら1日1万円という負担金も出てきて次年度の影響も出てきますので、さらに町民の負担をかけることになると思いますので賛成します。

米海兵隊CH 53 E大型輸送ヘリコプター不時着炎上事故に対する 意見書・抗議決議

去る10月11日午後5時過ぎ、米軍普天間基地所属のCH 53 E大型輸送ヘリコプターが東村高江の民間地域に不時着し炎上する事故が発生した。

事故現場周辺においては、6カ所のヘリパッド建設が強行された結果、民間地上空での訓練が激化し、いつ事故が発生するか分からないという訴えが相次ぐ中、事故が発生した。

事故現場は、民間の牧草地で民家から数百メートルしか離れておらず、県道70号線にも近接していることから、まさに県民を巻き込む大惨事寸前の事故である。CH 53 Eヘリコプターは去る6月1日午後1時頃久米島空港にも緊急着陸の事故を起こしており、町民をはじめ県民に強い衝撃を与えるとともに、住民の不安と恐怖ははかり知れないものがある。

米軍航空機の事故については、これまで枚挙にいとまがないほど発生しており、普天間基地所属のMV 22 オスプレイが、昨年12月13日訓練中に名護市安部の海岸に墜落事故を起こし、さらに同日、別機が普天間飛行場で胴体着陸するという事故が連続して発生した。

また、今年に入り、6月6日に伊江島補助飛行場、6月10日に奄美空港、8月29日に大分空港、9月29日には新石垣空港に緊急着陸するというトラブルを立て続けに起こすなど異常な事態となっている。

米軍機に関する事故については、その都度、本町議会をはじめ県議会や地元市町村議会などが米軍や関係機関に繰り返し抗議決議を行ってきたにもかかわらず、事故が後を絶たない現状に怒りを覚えるとともに、米軍の安全管理体制の不備を指摘せざるを得ない状況となっている。

日米両政府においては、米軍機による事故が頻発している実態を真摯に受け止め、県民の過重な基地負担の確実な軽減を図るよう、より一層全力を挙げて取り組むべきである。

よって、本町議会は、町民並びに県民の生命・財産及び生活環境を守る立場から今回の事故に対し厳重に抗議するとともに、下記の事項が速やかに措置されるよう強く要請する。

記

- 1 事故の原因を徹底的に究明し、その結果を速やかに公表すること。
- 2 事故原因の究明、安全性が確保されるまで同型機の飛行を一切中止すること。
- 3 民間地上空および水源地上空での米軍機の飛行訓練を中止すること。
- 4 日米地位協定を抜本的に改定すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成29年10月23日

沖縄県島尻郡久米島町議会

【意見書のあて先】

内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、内閣官房長官、沖縄及び北方対策担当大臣
外務省沖縄特命全権大使、沖縄防衛局長

【抗議決議のあて先】

駐日米国大使、在日米軍司令官、第3海兵遠征軍司令官、在沖米国総領事



吉永 浩 議員

問 処分が甘いのでは

答 議会が決めるもの

吉永 職員の不祥事で新たに判明した事実は。

総務課長 27年度も一部横領が発覚。

吉永 公表されていない部分の町民へ説明する機会は。

総務課長 起訴が確定した段階で説明する予定。

吉永 信頼回復には他の任意団体予算も再チェックする必要があるのでは。

会計管理者 今事件が一段落した時点で、調査する。

吉永 町長、副町長の処分が10%、6ヶ月の減給では甘いのでは。その根拠は。

総務課長 他市町村の前例を参考。処分は議員、町民の判断で決定していくもの。

問 婦人健診の無償化

答 関係課と調整を

吉永 働き盛りで、子どもを生み育てる世代の女性の健康を守る取組みとして、婦人健診の無料化が必要では。

福祉課長 関係課と調整が必要。

吉永 女性の活躍ができる島を目指してほしい。

問 在宅支援の拡充

答 実施可能性の検討

吉永 不足する介護シヨートステイ対策として、お泊りデイの推進できないか。

福祉課長 制度上の調整が必要であり、確認する。

吉永 2025年問題がある。資格取得など介護人材の確保策も要望する。

問 社会参加促進体制

答 免除範囲拡大を検討

吉永 久米島全体が社会資源。障がい者のバス利用料免除の範囲拡大が必要では。

福祉課長 免除範囲の拡大については関係課と調整する。

吉永 同時にアルコール依

存、生活困窮者の、期間限定免除も要望する。

問 発達障がい児支援体制を

答 福祉計画に取り入れたい

吉永 発達障がい児を持つ親子を孤立させないため、普及啓発が必要では。不安を抱える。親同士が集う場所も必要では。

福祉課長 福祉計画に取り入れて実施したい。

吉永 行政も声が聞ける場にもなる。気になる子を、気になるままで終わらせない優しい町づくり推進を要望する。

他にもこんな質問

問 小・中学校教室への冷房設置を

問 町民協働のウミガメ保護を

問 ラムサールブランドの推進を



仲村 昌慧 議員

問 職員の不祥事への対応は

答 信頼回復に努める

仲村 職員の不祥事については事件の全容を説明し、町民に説明すべきではないか。

町長 事件の全容については、余罪も含め現在も調整中である。横領の手口や横領金の使途など、事件の詳しい内容については、今後の捜査に影響を与える可能性があるため、現段階で公表することはできない。しかるべき時期がきた段階で、全てを説明したい。

仲村 町長は重大な責任を感じているというが、監督責任をどう果たすか。

町長 このようなことが二度と起こらないよう、公金の管理体制をはじめ、職員の指導体制、業務の実施体制を今一度見直し、全力を挙げて町民の信頼回復に努める。事件の責任を取って給料の6カ月間10%の減額を今議会に提案し

たい。

仲村 横領による損害金を町が補填する場合の責任をどう取るか。

町長 この件に関しては、先方、顧問弁護士、警察の方とのやり取りの最中である。責任等については、今後の民事訴訟において、いろんな手続きを準備しているので、その中でいまかかった費用においても、全て請求する予定である。

問 故・大田昌秀氏の銅像建立を

答 実施に向けて準備を進める

仲村 故・大田昌秀氏は知事・参議院議員を歴任し、平和で豊かな沖繩の実現に多大な功績を残した。偉大な先輩である先生は私たち久米島の誇りであり、多くの方々が銅像建

立を望んでいる。銅像建立について町長の見解を伺う。

町長 大田昌秀氏は、久米島出身の元県知事としてだけでなく、平和研究家、平和活動家として多大な功績を残されており、大田昌秀氏の顕彰事業期成会を立ち上げるのであれば、全県的な組織にする必要があるとの関係者の共通認識のもと、期成会準備委員会の立ち上げに向けて調整を進めている。銅像建立については、顕彰事業の一つとして位置づけ、実施に向けて準備を進めたい。

他にもこんな質問

問 給付型奨学金制度について



赤嶺 秀徳 議員

問 職員の教育は

答 研修で対応

赤嶺 公務員の不祥事が国、県地方を問わず発生している。本町職員へのコンプライアンスについてどのように指導教育を行っているか。

町長 県の合同初任者研修を必修とし、地方自治法及び地方公務員法研修を履修させている。

問 学校給食費の徴収は

答 分割納付等に対応

赤嶺 母子父子家庭は子供の貧困から給食費の未徴収が発生している。給食費の無償化、あるいは減額等の事業計画はないか。

町長 分割、又は助成金の支給時に納付してもらったり、無償の形もある。

問 母子父子家庭の実態は

答 助成事業で対応

赤嶺 母子父子家庭は子供の貧困と密接に関係している。母子父子家庭への援助支援事業はどのように行われているか。

町長 児童扶養手当給付又は、母子父子家庭医療費助成事業を行っている。

問 県道89号線は

答 整備の計画はない

赤嶺 県道89号儀間、嘉手苅はバイパス開通に伴い県道から町道へと格下げとなるようであるが同区間の改修整備計画はあるか。

町長 南部土木事務所から改修整備の計画はないとの報告です。



県道89号 儀間嘉手苅

問 責任の再考は



棚原 哲也 議員

答 処分は相当である

棚原 一律給与10%、三か月の減俸で提案しているが監督のずさんさから発生した事件であり、人事を含めて再考する考えはないか。

町長 分限懲戒審査委員会の答申を受け、期間や減給率について処分は相当であると判断しており、人事異動は考えていない。

棚原 課長、班長は管理者の注意義務を怠ったという認識があるか。

産業振興課長 監督責任を十分感じている。

棚原 事件の損害額を考慮した場合、非常に軽微な処分になっていると思う、見直すことはできないか。

副町長 六か月10%というのが一番重い処分であり、今回10%三か月、これ以上の重い処分は必要ないと思っている。

問 射爆撃場の返還を

答 返還要請を行う

棚原 射爆撃場は早急に返還させ漁業や観光産業の経済活動に活用した方が産業振興に大きなメリットがあると思うが町長の考えは。

町長 町としても同海域を漁業や観光に活用したいと考えている。

問 トイレ、シャワー及び監視塔は

答 整備計画なし

棚原 海岸に設置されているイーフビーチ西側に設置のトイレ等物件の所有権はどこにあるか。

商工観光長 登記は確認していない。ホテルで建設した話を聞いている。

棚原 当施設は観光客等不特

定多数の人が利用する施設であり、行政が管理すべきだと思いが考えを伺いたい。

商工観光長 現時点で町として整備することは考えておりません。



イーフビーチ西側監視塔

他にもこんな質問

問 イーフビーチ中通りの歩行者の安全確認について

問 県道イーフ地区の整備について



喜久里 猛 議員

問 職員不祥事での管理責任は

答 町長・副町長の減給増

喜久里 管理責任の認識に町民とのずれ、6ヶ月10%ほどれくらいか。農家への被害は。

町長 28年度事業での農家への直接的な被害は確認されていない。

総務課長 町長・副町長の給与のみで合計76万2千600円で、これに12月のボーナス分を加算すると約100万円近くなる。

喜久里 町長と産業振興課長もFMで謝罪の中で、被害はない。という発言をしたようですが、農家に直接的被害が無くても農家に対する公金を使われたのに、この発言は町民と認識がずれている。それと新職員は外部で精神教育が必要。

町長 新職員は国、県への研修派遣を行い人材育成に努める。

総務課長 地方・国家公務員の場合、民間への派遣というのはあまり、内容を調査してみ。

喜久里 外部研修で人間教育をやってほしい。それから、地域の中役場職員は、恵まれ

た位置にあるか。

総務課長 非常に恵まれた立場である。

町長 常に職員には、民間に比べると非常に裕福な待遇であるので、常に住民の公僕としてやるべき役割だと思う。

喜久里 自主返納という道はあるか。

総務課長 労基法上認められていない。

企画財政課長 政治家の寄付行為に当たる可能性があるもので、出来ない。今回も条例で出ているが、もしこれ以上の分を削減する場合は条例改正になる。

問 兼城港の供用開始は

答 30年3月に

喜久里 供用開始に向けた条件整備は、作業者の排煙・振動・船の排煙の対策方法は作成したか。

町長 兼城地区最後の工事を8月18日に発注し、地元業者が落札、粉塵対策について、

施設の供用開始後は、フェリーの停泊位置が西側に移動するため、兼城港への排煙は低減するものと考えている。

喜久里 供用開始は、大丈夫か。

建設課長 工事工期は1月ですから30年3月には兼城地区として供用開始したい。



兼城港

問 他にもこんな質問
防災倉庫の町民への認識

問 被災時の業務継続計画は

答 早急に策定する



玉城 安雄 議員

玉城 災害や事故で重要業務を中断させず、中断しても早急に復旧させるための業務継続計画の策定は。

町長 策定中の防災計画の中に一部網羅されているが、正式な業務継続計画はこれから策定する。

玉城 行政システムデータのバックアップは。

総務課長 日々のバックアップは確保している、よそにデータを置いて管理するクラウドサービスを導入し強固な事業継続性を確保する。

問 町長、副町長不在時の対応は

答 職務代理者

玉城 町長、副町長が不在の時、様々な問題が起こらないとも限らない、同時に不在というのを避けるべきだが見解は。

町長 同時に不在にならないよう、毎週厳密にスケジュールを管理調整している。

玉城 両方不在というのは何回あったか。

総務課長 28年度、町長の出張が80件あり、副町長と終日かぶったのは6日である。

玉城 同時不在の対応は。

総務課長 職務代理者を第3位まで定め緊急指揮命令系統図を作成している。

問 バーデハウスの運営は

答 年度内に方向性

玉城 この施設は町民の健康増進施設、観光施設として重要である。今後の運営についてどのように考えるか。

町長 機器の劣化が著しく安定稼働が厳しい中、一刻の猶予もならないことから年度内に具体的な方策を示す。

玉城 民間に委託することも選択肢の中にあるか。

商工観光課長 雇用形態の継続をそのままにし民間委託、指定



バーデハウス

管理がいいのか含めて調整する。

問 仲里総合グラウンド管理

答 現状に沿った管理

玉城 道路工事の為撤去したフェンスの設置は。

町長 歩道幅があるため必要ないと考える。駐車場については段差があるため対処する。

玉城 B&Gプールの屋根の設置は考えていないか。

環境保全課長 施設が老朽化しているため、引き続き遮光ネットに対応する。



仲里総合運動公園



問 集落内道路の早期整備を

答 新規事業にて取り組む

盛本 實 議員

盛本 町内の各集落内の道路が経年劣化やその他の理由により損傷が著しく安全な交通が維持できない箇所が多くみられる。町民の安心、安全な生活を確保する上からも早急な整備が望まれるが、今後の対策は。

町長 現行「社会資本総合整備計画」が30年度で終了する事から「次期社会資本総合整備計画」(31年度～36年度)で対応したい。但し現状において危険性がある箇所については随時応急的な補修をしながら対応する。

問 洪水対策は

答 県へ要請を

盛本 謝名堂川水域については、過去数回も洪水被害に見舞われている。近年、全国各地で発生している記録的な豪雨、大雨と同様な雨量が久米島を襲った時、現状の謝名堂川の幅員では、甚大な被害をもたらす可能性が大きい。よって災害の未然防止の観点より

早急な整備が望まれるが、町としての取り組みは。

町長 本河川の財産権及び管理義務は沖縄県にある。現在整備に向けて設計の途中であり町や仲里土地改良区と調整等々をしている最中である。町としても早急に事業を推進するように強く要請を行う。



比嘉・謝名堂地区

問 土地利用計画は

答 沖縄県及び仲里土地改良区と調整

盛本 タイ原池は昭和10年代に築造されており老朽化が激しいと思われるが整備の計画はないのか。また、沖縄県においては儀間ダム総合整備計画でタイ原池の整備も目論み周辺地域で広大な用地買収を行ったがタイ原池の整備が中止となった今、その土地の利用計画が明確になっていないが今後の方針は。

町長 タイ原池の整備及び池周辺の土地利用計画については、沖縄県と十分な調整を図りながら対応していく。

他にもこんな質問

問 県道整備について

問 町道整備について



平良 弘光 議員

問 旧集落跡の保全を

答 文化財的価値を残す

平良 旧阿嘉集落は台風、津波等の被害のため、現在の位置に移転したが、旧集落跡を整備し、久米島町における集落移転の変遷として、保全する必要があるのでないか。又移転の詳細について記載した記念碑等の建立も必要ではないか。

博物館長 実際に現場を確認したが、屋敷囲いの石垣、フクギの木も現存していて、集落跡としては、たいへん貴重であると考えている。

問 クリーンセンターの現状は

答 老朽化している

平良 仮に現施設が100%使えなくなった場合、ゴミ処理はどうするのか。

環境保全課長 2炉止まった時のことを考えると大変心配ですが、その対策としては、

一時保管して燃やす状態になりかねない。

平良 ゴミ処理については、適正に処理を進めて行かなければ環境に与える影響は大きいものがある。

問 農道の整備は

答 整備を進める

平良 比屋定シンバルからエポック向けの一部に未舗装の農道があるが、その整備計画は予定されているか。

町長 28年から31年までの整備計画の中で整備が出来るように進める。

問 幼稚園の移転を

答 避難訓練で対応

平良 先の東北大震災でみられるように、学校から自宅等へ避難をして犠牲になった生徒もいる。このことを考える

と災害弱者である幼稚園児が学校から移動することなく、100%安全が確保されることが重要ではないか。

教育長 清水幼稚園の避難場所は、改善センターを予定しているが、毎年避難訓練の中で時間を計っているが現在のところ、11分から12分程度の時間を要しています。



清水幼稚園



喜久村 等 議員

問 掲示板の設置を

答 予算の範囲内で対応する



掲示板

喜久村 本町の九割の字が掲示板の新設、建て替え、補修の要望があるが新たな掲示板の設置はできないか。

町長 三年前にも修繕を行っているため、優先順位を定めて予算の範囲内で対応する。

喜久村 従来型ではなく引き戸式や跳ね上げ式の設置で、一括交付金の活用とか他にメニューはないか。

町長 再度一括交付金等の事例がないか調査し、等しくサ

ービスができるよう検討する。

問 道路の拡張を

答 補修を検討

喜久村 上阿嘉のウザ原、久米島紬の染色場に行く道100メートル程の道路整備はできないか。

町長 延長基準外の補助事業での整備は厳しい。現在、久米島紬泥染場に向かう上阿嘉六号線ボックス改修の改修工事を計画しており、改修工事完了後、上阿嘉六号線を利用し、その間は再生材等で補修を検討する。

問 農道整備を

答 調査し検討する

喜久村 島尻のトクジム原は道路が崩れ、非常に危険な道になっているが対策は。

町長 この道は非常に危険な状態と判断しており、早急に対応策を検討する。

喜久村 島尻のトクジム原で法面が崩れ道路をふさいでいるが、土砂の撤去はできないか。

町長 撤去時に法面が崩れる二次災害も想定されることから、再度現場踏査し、工法を検討し予算調整をする。

喜久村 島尻のクサト原の道路が約50メートル程、舗装されていないがその区間の舗装はできないか。

町長 農道島尻四号線で未舗装箇所は75メートル程あり、未舗装の原因と当時の状況等を調整し、関係課で協議し検討する。



饒平名 智弘 議員

問 台湾船監視事業の継続を

答 関係機関と連携

饒平名 本町の漁業は日台漁業協定により、良質な漁場が縮小されて困っている状態である。そのため国に台湾船監視事業があるが、毎年度監視事業が縮小されていると思われる。

今後、監視事業がさらに縮小、また無くなることが懸念されているが、町長は監視事業の継続を国や県に強く働きかけをする考えはあるのか伺いたい。

町長 29年8月に、沖縄県知事、沖縄県漁業協同組合連合会、沖縄県漁業協同組合長の連名で農林水産大臣に対し、日台漁業取り決め及び日中漁業協定の見直し等を求める要請を行っております。久米島町としては必要に応じて関係機関と連携していきたい。

饒平名 台湾船監視事業は町・県が国に強く要請をすれば継続できると思う。監視事業がなく

なったら台湾船が違法操業をする可能性や、久米島の漁師とのトラブルが発生することが考えられる。ことが起こる前に町長は、県・国に事業の継続を強く伝えてほしい。

問 小・中学校に冷房設備を

答 早急に取り組む

饒平名 本町の小・中学校には冷房設備はなされているのか。教室の温度等の状況把握しているのか伺いたい。

教育長 比屋定小学校の普通教室のみクーラーが設置されている。それ以外の小・中学校の普通教室には未だ冷房設備の設置はない。各学校の授業の様子や教室環境については把握しており、特に中学校に関しては学級の生徒数が多く、夏場は授業

に身が入らないこともあると思う。

饒平名 他市町村の冷房設備の設置状況は那覇市、浦添市は全小中学校の普通教室に冷房設備が設置されており本町以外の10町中6町及びに近隣離島の6村中4村で9割以上の普通教室に冷房設備が設置がなされている。他の市町村は9割以上の普通教室に冷房設備がされていると回答している。本町も早急に普通教室に冷房設備を設置する必要があると思う。現場出身の教育長は学校教室の暑さは一歩分かると思う。

町長 三年以内を目処に全ての子供が冷房設備の中で勉強ができるようにしたい。

他にもこんな質問

問 久米島ブランドの表示を



問 観光における懸念

答 スピード感で対応

翁長 学 議員

【翁長】 今年の観光客の入客が好調な時に、旅客運送業者の廃業において、今後の久米島観光がマイナスにならないか、特に団体客の誘致が困難にならないか町として対策を考えているか。

【町長】 観光バスの安定確保について、観光事業者をまとめ、受入体制の強化に取り組み。

【翁長】 1月から今までの久米島においての観光の動きはどうなっているか。

【商工観光課長】 8月現在の入域客数ですが、対前年度比103.2%で増加している。

【翁長】 観光客が増えていると言いつことで、廃業だと懸念される。現営業している会社は以前保有台数が12台あり、同業者が現れて半分以下になっている。急に4〜5台増車は無理で経費がかかる。現バス会社に対して何かの対策を考えるべきではないか。

【町長】 非常に急を要する問題で、スピード感をもって対応させる。

議会だより 61号(9月号)の一部訂正について

表紙(久米島の人口の数字)、P11(他にもこんな質問)、P14(議会のうごき)に誤りがありました。下記のとおり訂正のご案内をさせていただくとともに、謹んでお詫び申し上げます。

表紙(久米島の人口の数字)

男：4,250人		男：4,272人
女：3,711人	訂正後→	女：3,737人
計：7,961人		計：8,009人

P11(他にもこんな質問)

児童保育 訂正後→ 学童保育

P14(議会のうごき)

平成29年7月のうごき 23日・「山元大臣」 訂正後→ 23日・「山本大臣」

議会の傍聴へ行こう 次回定例会は12月12日(火)・13日(水)開会予定

傍聴は議会の活動や町制の動きを知るチャンスです。本会議では、町民生活に関わるさまざまな決まりごとや問題について、審議が行われます。また、一般質問では、町長の考えを聞くことができます。

今、まちづくりがどのように行われているか、町民、議会、役場(執行部)みんなて情報を共有し、協力してより良いまちづくりを進めていくためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

仲里庁舎1階にて一般質問の様子をテレビモニターでご覧いただけます。

前回の傍聴者人数8名でした。多くの方の傍聴をお待ちしております。

議員決議書採択

職員不祥事の再発防止を強く求める決議

平成29年8月18日、公金を横領したとして、元町職員が刑事告訴された。

同日、町長は、事件を起こした職員に対して懲戒免職処分を決定し、当該職員の直属の上司についても管理監督責任として給与削減の決定をした。

町長、副町長の管理監督者としての責任は重大であり、今定例会において給与の削減条例を議決した。

今回の事件は、当該職員の公務員としての責任と自覚の欠如及び組織の管理体制の不備に起因するものと断ぜざる得ない。この問題は、町民に多大な不利益を与える行為であり、全体の奉仕者として厳正に職務を遂行すべき公務員が、町行政に対する町民の期待と信頼を失墜させたことはきわめて遺憾である。

よって、本町議会は、今後このような事態が二度と繰り返されることのないように、町長を初め職員が抜本的な意識改革や服務規律の徹底を図り、法令遵守の確立に務め、町民の信頼回復に向けて取り組むよう強く要望する。

以上、決議する。

平成29年9月27日

沖縄県久米島町議会議長 幸地 猛

久米島町長 大田治雄 殿

編集後記

二元代表制という制度はご存知でしょうか。二元代表制とは住民が直接選挙で首長(町長)と議員を選ぶ制度で、首相(総理大臣)を議員から選ぶ「議院内閣制」の国政とは異なります。首長(町長)の権限は予算や条例などの議案提出や人事など幅広く、議会は住民の代表機関、地方自治体の最終意思決定機関として、審議機能・監視機能を有しています。住民は首長(町長)と議会、執行と決定という、2つの意志を作ります。この微妙な「ズレ」が二元代表制の優れたところですが、この「ズレ」により2つの機関が民意をめぐって是々非々(良い部分は評価し、悪い部分は正す)の議論をするのが、本来の議会あり方です。

(盛本 實議員)